

MUSASHINO MUNICIPAL ASSEMBLY

武蔵野市議会だより

No.379

発行日 令和2年(2020年)5月15日

発行 武蔵野市議会

東京都武蔵野市緑町2-2-28

TEL 0422-60-1883(直)

FAX 0422-55-7555

CONTENTS

- 代表質問・施政方針 …… 2-3面
- 予算特別委員会審査概要 …… 4-5面
- 一般質問 …… 6-7面
- 議会基本条例を制定しました …… 7面
- 議案等審議結果一覧 …… 8面
- 政府等への意見書・決議 …… 8面
- 陳情審議結果 …… 8面

第一回 市議会定例会

第一回定例会は、二月二十一日から三月二十六日まで開催されました。今議会では、市長による施政方針演説と、これに対する八人の各会派代表質問、および十四人の議員による一般質問が行われました。また、令和二年度武蔵野市一般会計予算をはじめ、二十九件の市長提出議案が可決されたほか、武蔵野市議会基本条例など三件の議員提出議案が可決されました。

令和二年度予算を可決

誰もが安心して暮らし続けられるまちへ 新たな時代へ挑む予算
一般会計は六百七十六億円

一般会計六百七十六億六千三百万円を中心とした令和二年度の各会計予算案は、三月二日の本会議で、同日設置された十二名の委員から成る予算特別委員会に付託されました。

同委員会では三月十二日に正副委員長を互選した後、十六日から四日間にわたって各予算案の審査が行われました。

二十六日の本会議では、土屋美恵子予算特別委員長より委員会における審査概要の報告がありました。続いて討論が行われ、個別採決の結果、令和二年度一般会計予算は賛成多数で可決され、国民健康保険事業会計・後期高齢者医療会計・介護保険事業会計の三特別会計および水道事業会計ならびに下水道事業会計の各予算は、全会一致で

可決されました。これによって市政運営の大枠が確定し、各種事業が実施されることとなります(三面に施政方針、二・三面に代表質問、四・五面に予算特別委員会審査概要、五面に予算に対する討論を掲載)。

自治基本条例を可決

十二月十六日、一月二十九日および三月二日の自治基本条例審査特別委員会での審査を経て、同月十二日の本会議において、「武蔵野市自治基本条例」が全会一致で可決されました。

本条例は、武蔵野市における市民自治および市政運営に関する基本的な事項を定めるとともに、市民、市議会および市長等の役割等を明らかにすることにより、市民自治の一層の推進を図るため、制定するものです。

なお同日の本会議では、本条例の採決に続いて「議案第七十三号武蔵野市自治基本条例に関する付帯決議に関する動議」が提出され、賛成多数で可決されました。

債権の管理に関する条例を可決

三月四日の総務委員会での審査を経て、同月十二日の本会議において、「武蔵野市債権の管理に関する条例」が全会一致で可決されました。

市では、これまでも債権の適正な管理に取り組んできましたが、滞納額削減の取り組みを進めても債権によっては回収ができず、結果として滞納が解消されない等の課題があります。本条例は、市民間の公平性の確保および健全な行財政運営の維持等の観点から、債権の適正な管理をより一層推進するために制定します。本条例では、市の債権を適正に管理すべき市長の責務や福祉的配慮者等への対応を定めたほか、債権の放棄についての規定を設け、債権管理事務の適正化を図ります。

Photo Gallery

フォトギャラリー



「花咲く道」

撮影：田畑 浩 (武蔵野市)
場所：花の通学路 (2019.4.27)

四季折々に咲く花は、道行く人々を和ませてくれます。子どもやお年寄りが安心して、歩くことができる貴重な道です。



1面写真募集要領 (次回の締め切り7月7日)

- 内 容：武蔵野市内(隣接する地域を含む。)で応募者自身が撮影した、未発表※のオリジナル作品(カラー)に限ります(明らかに人物を特定できる場合は、ご本人の了承を得てください。)
※インターネット、SNS等で掲載したものや、個展や写真の掲載が主目的な催しは発表とする。ただし、地域行事への協力展示(例えば、コミセンや学校での展示など)は未発表とする。
- 規 格：①紙焼きの場合 ・サイズ 2L判~A4
②デジタルデータの場合
・ファイル形式 JPEG形式
・画像サイズ 1600×1200ピクセル以上
・ファイルサイズ 2MB程度まで
- 審 査：議会広報委員会が審査します。
- 発 表：採用された作品は、8月1日発行の市議会だよりに掲載する予定です。ただし、紙面構成の都合上、掲載しない場合がありますのであらかじめご了承ください。
- 著作権：作品の著作権は撮影者本人に帰属します。ただし、次号の市議会だより発行までは、他媒体での発表等をご遠慮いただくことを、作品採用の条件といたします。
- 期 限：7月7日(火曜日)当日消印有効
- 応募方法：撮影者の住所・氏名(ふりがな)・電話番号・撮影年月日・撮影場所・作品名・作品に関するコメント(100字程度)を明記のうえ、下記宛先までご応募ください(作品は返却いたしません。なお、今回採用されなかった場合は、次号以降の市議会だよりの1面写真に使用させていただく場合があります。)
- 宛 先：〒180-8777武蔵野市緑町2-2-28 武蔵野市議会事務局市議会だより担当
デジタルデータの場合はメールで ofc-gikai@city.musashino.lg.jp まで
(上記以外のメールアドレスや各種メディア等での送付はご遠慮ください。)



施政方針を質す

代表質問

「施政方針」は武蔵野市役所のホームページでご覧いただけます。また、市役所の市政資料コーナー、各図書館、武蔵野プレイスで閲覧できます。

2月26日、市長の施政方針に対して、8名の各会派代表者による代表質問が行われました。以下はその要旨です。

自由民主・市民クラブ ● 与座武議員

「正しく恐れて、正しく備える」 公助の責任ある危機管理対応を



問 新型コロナウイルス感染症対策として、現在の取り組みと今後の市民への対応は。

答 保健所や医師会等と連携しながら感染の現状を把握し、感染拡大防止に取り組むとともに市民への情報提供を行う。

問 令和元年の大型台風を教訓として、市民の生命・財産を守る公的な備えを伺う。

答 公助としての責任ある対応を取るため、新年度は雨水貯留浸透施設設置や河川流域対策に係る予算を計上した。

問 総合的な相談支援体制の充実とネットワークの強化への取り組みについて伺う。

答 あらゆる手法で市民の実態把握に努めているが、複合的な市民の相談や課題に対しては、職員がさまざまな職場で経験を積んだうえで対応できるような支援体制を強化する。

問 本市の外国人支援に対する基本方針について伺う。

答 どのような施策が必要か今後方針を検討していく予定

立憲民主ネット ● 深沢達也 議員

武蔵野市らしいまちづくりを



問 武蔵野市らしいまちづくりをどのように考えているか。

答 多様な町並みが調和した都市空間と、その空間を通じて人々が育んできた生活や文化、歴史の総体が武蔵野市らしさだと考えている。

問 新型コロナウイルス感染症対策の現況を伺う。

答 感染拡大を防ぐ重要な時期であり、市民の不安を払拭し、命を守るという視点から、市主催のイベントを原則中止または延期と決定した。

問 公約である保育園待機児童ゼロについて、達成見込みは。

答 本年四月向けの一斉入所に際し利用調整後も入所できなかった方へ、定員に空きがある施設を直接案内することにより、実質的な待機児童ゼロが達成できると考えている。

問 地域包括ケア人材育成センターは開設から一年強が経過したが、現状を伺う。

答 令和二年度は在宅での医療ニーズを踏まえ、たん吸引

市議会公明党 ● 浜田けい子 議員

SDGs(持続可能な開発目標) の達成を目指す着実な施策展開を



問 三鷹駅北口ロータリー内は車両が行き交い危険な状況だが、社会的実験を踏まえ、どのように解消していくのか。

答 現在のスペースで課題を解決するのは困難であり、一般車両を導入させないという手法も取らざるを得ないと考えている。今後も実験を重ね、よりよい改修を検討したい。

問 東京2020オリンピック・パラリンピックは共生社会を広げる契機となるが、心のバリアフリーについて伺う。

答 心のバリアフリーの考え方を学び、まちぐるみで支え合う地域共生社会の実現を目指し、啓発事業を実施する。

問 市民自治のまち武蔵野を実現するためには、市民の心を捉えることが必要では。

答 適時情報共有をし、市民参加で築いた施策を実施することで市民の心を捉えたい。

問 持続可能な社会の発展を目指し、世界に向けてどのように発信するかを伺う。

答 多様性に富んだ環境分野の取り組みを展開し、実施状況を市内外へ発信したい。

問 8050問題等の相談支援体制を充実すべきでは。

答 実態調査を基に体制を検討し、課題を抱える世帯を福祉部門につなげるよう、組織横断的連携体制を強化したい。

問 保育の質向上に向け、ガ

ワフワフはたらく ● 宮代一利 議員

分かりやすく情報を提供し、 市民の声に耳を傾け、合意形成を



問 新型コロナウイルス感染症対策本部会議での結論を適切に市民へ周知することが必要と考えるが見解を伺う。

答 市民への情報提供はホームページ等を用いて適宜行っているが、今後も分かりにくい部分は改善しつつ積極的に発信したい。

問 市民との合意形成の際、市長みずから反対意見にも耳を傾けることで、よりよい決断ができると思うが見解は。

答 市民から話し合いの希望があった際は、可能な限り時間を調整して臨んでいるが、まち場に出て、広く意見を伺う姿勢が最善と考えている。

問 吉祥寺南口再開発にあたりNEXT-吉祥寺の改定は地元住民との協議が重要と考えるが今後のスケジュールは。

答 まちづくりに対する議論は今後も必要と考えており、地元で活動している方々に敬意を表しつつ協議を進めたい。

問 待機児童ゼロ達成の見込

イドラインをどう見直すのか。

答 第五次子どもプランの策定等を受けた形で行うものだが、今までの議論を尊重し、保護者の意見を反映させ、関わるすべての人が共有し、実効性のあるものにした。

問 地域防災計画の今後は。

答 都の計画修正を基に、女性視点での改定を進めたい。

問 吉祥寺南口の再整備に向けた取り組みについて伺う。

答 公民が連携し、交通環境改善を含む基盤整備等の課題解決を目指して進めたい。

問 技術系職員の確保と育成について、今後の方針を伺う。

答 リーフレットの配布や出身大学への訪問等を通じた人材確保や、電気職の採用を考えている。また、技術職研修プログラムを試行実施し、人材育成に努めている。

みと、分析に基づく施設整備の計画について伺う。

答 令和二年度は、選考で保育施設に入れなかった方を対象に、空きがある施設へのあつせんを行い、実質的な待機児童ゼロを実現していく。また、保育需要の細かな予測は非常に困難であり、定員を増やすだけで解消できるわけではないと考えている。

問 本市の市立学校で魅力ある教育を行うための方策は。

答 生きる力を確実に育む学校にするため、先生方が生き生きと働ける環境を整備し、質の高い教育を実施する。

問 学校施設保全整備の今年度の具体的な計画を伺う。

答 子どもの安全を第一に考え、点検体制を充実させることで必要なメンテナンスを適時適切に実施していく。

自治と共生 ● 山本あつし 議員

百年の持続可能性を考えた まちの更新を



規模・多機能・複合型を基本に施設を整備していきたい。

問 学校の外に子どもの世界を作ることは大切さは共通理解が広まっていると考えており、不登校対策という枠組みにとどまらない、子どもたち全体を対象とした地域展開や支援策を求めるが見解を伺う。

問 高齢者人口や要介護者数の増大に合わせ、在宅系、施設系共にサービスが低下しないよう必要な整備を進めるべきと考えるがいかがか。

答 医療ニーズが高い中重度の要介護高齢者を支えるサービスとして、看護小規模多機能型居宅介護施設の整備がさらに必要と認識しており、小

メントが必要なため、大規模開発行為に伴う公共施設等の配置等も路線転換する必要がある。今後の開発行為に対する指導には方針転換が求められると考えているがいかがか。

答 まちが積み重ねてきた資源や資産を、新たな資産と組み合わせながら今日的な意味に更新していくことは重要であり、時代と地域の要請を常に把握しながら制度等の更新と将来ビジョンの策定を進める必要があると認識している。

問 公文書管理条例の制定と情報公開の徹底を求めるが見解を伺う。

答 情報公開条例および文書管理規則に基づき適正に管理していると認識しているが、条例制定については、他の自治体の制定状況なども踏まえながら研究していきたい。

日本共産党武蔵野市議団 ● 橋本しげき 議員

介護や保育の施設整備、災害対策 など、暮らし応援の市政を前に



健康格差をさらに深刻化させると考えるが、次期介護保険事業計画には何が必要か伺う。

問 新型コロナウイルス感染症による影響や実態を的確に把握して迅速に対応し、国や都にも意見や要望を上げるべきと考えるが見解を伺う。

答 まずは感染拡大を防ぐことを大前提に命を守る最優先の取り組みを行っていききたい。国による負担増と給付抑制の推進は、所得格差による

さを次世代に伝えるため、今後も節目の年ごとに行いたい。災害に対し、電柱の倒壊を防ぐ対策や無電柱化の推進も必要だが、どう対策するのか。

答 気候危機に対し、スーパースタイルを念頭に置いた災害対策の構築が必要と考える。

問 子どもの人権の条例化はどのように進めていくのか。

答 子どもの最善の利益に資する実効性のある条例にするため、先進事例なども調査したうえで検討していきたい。

改革武蔵野・都民ファースト ● 深田貴美子 議員

市長の規範の欠如と、後世に禍根 を残す財政計画の見直しを求める



であり専門家会議開催は不要。都の都市計画諸制度改定により、三駅周辺は拠点として災害時の強じん化を目指す。首都直下型の阪神大震災に学び災害復興費を試算しては。

問 新型コロナウイルス対策で、PCR検査等の多摩地域での感染症患者受け入れ強化の現状は、PCR検査体制の情報は、入手・把握しているが、この場で公表すべきものではない。

問 地下水の汚染報道と国の基準値設定を踏まえ、市でも専門家会議の設置が必要では。本市の井戸は基準値未満

金獲得の可能性②建物の改修・維持管理のコストを伺う。

答 ①公園部分は、補助金獲得に取り組み②答弁なし。

問 「禁煙・ポイ捨てロゴマーク」委託は、「市長とデザイナー」が意気投合し、伝票を四つに分け随意契約をした」との趣旨の環境部長答弁があるが、競争入札は検討したのか。

答 デザインは、競争入札になじまないと考え。入札を行うという考えはなかった。

自由民主・市民クラブ ● 道場ひでのり 議員

緩んだガバナンスと内部統制の欠 如の真因は市長の政治姿勢にある



会、年次財務報告書において二十三億円もの過誤記載が発覚、緩んだガバナンスと内部統制の欠如を厳しく指摘した。施政方針にはこの指摘内容や反省がどう反映しているのか。

問 市長は、本会議、委員会中に居眠りしている姿が見られる。行政ミスの原因である緩んだガバナンスと内部統制の欠如は、市長の市政に臨むその姿勢が真因ではないか。

答 決意を持って臨むのが大切である。ミスのないよう今後も緊張感を持ち対応したい。昨年九月の決算特別委員

づくり公社へ改善を要望した。策本部設置は一月三十一日であり、対応が遅かったのでは。

問 新型コロナウイルス感染症拡大防止のためのイベント中止要請は二月の三連休後に行われたが、東京都と同様三連休前に行うべきだったのでは。

答 イベント中止を行うには本来は法的根拠が必要だと認識していたが、三連休中に実施された国の専門家会議での指針を基に、要請を決定した。

問 新年度版のごみと資源の収集カレンダーに誤植が九か所見つかったが、このミスの原因と責任の所在を伺う。



松下玲子 市長

【市長が2月21日の本会議で表明した「施政方針」演説の項目です。】

誰もが安心して暮らし続けられる まちへ 新たな時代へ挑む予算

市政運営の基本的考え

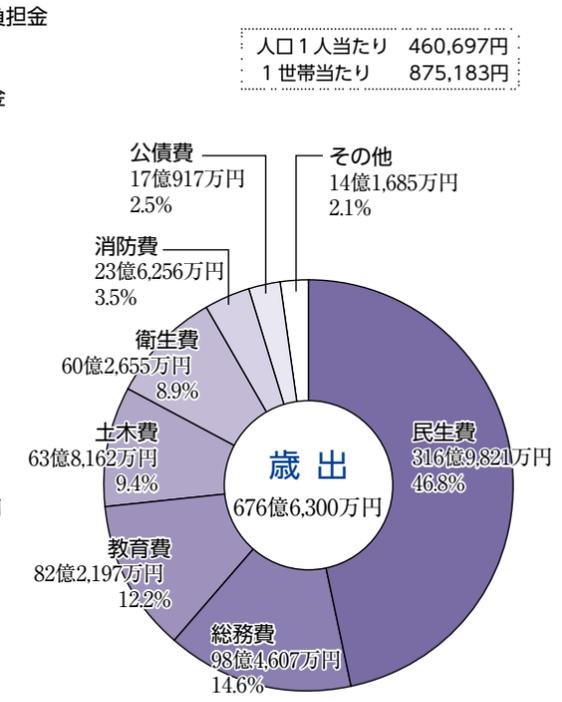
- 1 多様性を認め合う 支え合いのまちづくり
- 2 未来ある子どもたちが 希望を持ち健やかに暮らせるまちづくり
- 3 コミュニティを育む 市民自治のまちづくり
- 4 このまちにつながる誰もが 住み・学び・働き・楽しみ続けられるまちづくり
- 5 限りある資源を生かした 持続可能なまちづくり

主要な施策の体系

- (I) 健康・福祉
- (II) 子ども・教育
- (III) 平和・文化・市民生活
- (IV) 緑・環境
- (V) 都市基盤
- (VI) 行財政

特別委員会 概要

歳出予算の目的別内訳



令和2年度予算は、「誰もが安心して暮らし続けられるまちへ 新たな時代へ挑む予算」と位置づけ、第六期長期計画の初年度として、計画の各分野に掲げられた施策を着実に推進するとともに、新たな課題にも対応しながら、持続可能な市政運営を行っていくため、限られた財源を重点的かつ効率的に配分することを基

本に編成されています。また、効率的な行政経営により健全な財政運営を維持するため、事務事業および補助金の見直しや政策再編を継続的に実施したほか、経常経費は前年度予算額を上限とする予算配分により経費の節減が行われています。以下は予算特別委員会の審査概要です。

主要な事業	(単位 千円)	
環境啓発施設の開設	60,746	
受動喫煙防止の促進	37,007	
予防接種事業	518,597	
農業者		
都市農地保全支援プロジェクト	12,304	
商工費		
コンテンツを活用した連携事業	1,100	
土木費		
都市計画道路の調査、検討	10,180	
交通量調査データ(市内主要交差点・生活道路)の整理、分析	5,900	
吉祥寺東町農業公園の開設・運営	6,062	
消防費		
災害時物資供給マニュアルの策定	4,941	
教育費		
児童生徒のオリンピック・パラリンピック観戦	8,576	
交流共同学習支援員の配置	2,752	
スポーツ振興計画改定に向けた市民意識調査	3,850	
体験しよう!パラ水泳	300	
介護保険事業会計		
介護保険制度改正に伴うシステム改修	8,690	
都有地活用(旧くぬぎ園跡)における介護老人保健施設整備事業	180,217	
下水道事業会計		
下水道ストックマネジメントの推進	317,121	
長期包括方式導入の検討	17,000	
下水道事業に係る公営企業会計事務の運用	3,102	



土屋美恵子 予算特別委員長

- 審査した特別委員**
- 令和2年度予算審査に当たった特別委員の氏名は、次のとおり。
- ◎土屋美恵子
 - 西園寺みきこ
 - 道場ひでのり
 - 堀内まさし
 - 大野あつ子
 - 深田真美子
 - 宮代 一利
 - 木崎 剛
 - 浜田けい子
 - 内山さとこ
 - 本間まさよ
 - 深沢 達也
- ◎印 委員長 ○印 副委員長

総括

新たな時代に挑む予算編成を

問 新年度予算編成方針を伺う。
答 全体的な経済状況を押さえ、たうえで第六期長期計画に示された事業の着実な実行や、新たな課題に対する積極的な施策を展開することを念頭に編成した。

問 自治基本条例が令和二年四月に施行されるが、どのように業務に生かしていくのか。また、自治の基本原則の一つである情報共有は公文書の作成、保存・管理が前提であるが見解を伺う。
答 各施策においては市民参加を中心とした計画行政、情報公開、協働がしっかりと行われるよう取り組みが必要であると考えている。また、公文書管理は重要と認識しており、今後も規則のつとめて管理を行いたい。

問 新型コロナウイルス感染症による今後の予算への影響は。
答 感染症対策として現在決定している事項は年度末までの対応となっており、令和二年度以降については状況を見ながら必要な予算措置を取っていく。

問 本市の環境啓発施設に係るデザイン等の委託における随意契約の妥当性について、見解は。
答 本契約の委託業者は人と人をつなげる等のコンセプトにより事業展開をしており、本市環境啓発施設の考え方と合致していたため競争にはなじまないと判断し、随意契約を選択した。

問 学校改築は人口減少に備え複合施設化や転用も踏まえると教育委員会と市長部局が連携しながら進めるべきだがいかがか。
答 教育委員会と市長部局がしっかりと調整・連携をし、地域懇談会での多様な意見も取り入れながら学校改築を進めたい。

歳入

寄付金の使いみちを具体的にせよ

問 ガバメントクラウドファンディング等により、ふるさと応援寄附による寄付金の使いみちを具体的に示すべきでは。
答 魅力発信が重要と考えており、産業振興や広報部門等が連携し、アイデアを生み出したい。

問 令和二年十月のたばこ税増税を控える中、都の受動喫煙防止条例や加熱式たばこ等が、今後の税収に与える影響を伺う。
答 たばこの販売数は毎年五%程度減っており、すでに影響が出ていると考える。仮に増税がなければ減収すると考える。

問 平和啓発事業を委託している非核都市宣言平和事業実行委員会の構成および事業への若年層に対する参加促進方法を伺う。
答 実行委員会は平和事業団体、PTA、大学生や公募委員等で構成されている。若年層に対しては、大学生委員の意見を参考にすることや、市内の大学のボランティアサークルへの呼びかけなどにより参加を促している。

問 いきいきサロン事業で、継続申請をしない団体もある理由と、場所の確保への見解を伺う。
答 補助金を受けず独自に運営を工夫したいとの意向による。また今後は、有料老人ホーム内の地域開放スペースの活用に向け協力を求めたい。

問 中高生や大学生を避難行動支援者に取り込んではいかがか。
答 大震災発生時には、支援者

民生費

認証保育所認可化と待機児解消の関連は

問 認証保育所の認可化は、待機児童ゼロ達成につながるのか。
答 認可保育所に入りたいがかなわらず育休を延長した場合が待機児に含まれているが、一部の認証保育所では空きがあるため、認証保育所の認可化を進める。

問 予算では、子どもの医療費助成の拡充が前提となっていないが、拡充ありきではないのか。
答 第六期長期計画でも議論して記載され、導入の要望や医師会からの評価もいただいている。庁内での検討体制を整え、事業の実現に向けて取り組みたい。

問 子育て・コミュニティ食堂運営費補助事業の今後の発展は。
答 市内全小学校区に子ども・コミュニティ食堂ができるよう運営費を補助し、支援したい。

問 パートナリシップ制度導入への検討はどの進め方なのか。
答 制度導入への本格検討が始まる前に庁内で問題点の洗い出しを行った。これらについて男女平等推進審議会でもさまざまな角度から議論していただきたい。

問 今年度開始した産後ケア事業の実績と次年度予算の考えは。
答 宿泊型の利用率は二十〜三十%、日帰り型は七十〜八十%である。宿泊型では利用率の向上、日帰り型ではキャンセル待ちの解消などに取り組むたい。

問 陳情の採択に伴い実施される若年層健康診断と、ミカレット改修整備検討調査の内容は。
答 若年層健康診断は、会社に勤めていても健康診断を受ける機会のない若い方が対象で、三十代への健診と同内容である。ミカレットは、武蔵境駅南口の公衆トイレに必要な機能や立地場所等を含め、更新方針を検討する。

問 吉祥寺駅前への閉鎖型喫煙所設置や武蔵境駅前への設置検討は、補助金の対象となるのか。
答 設置時期にもよるが、令和二年度の設置であれば交付対象になると考える。今後も申請可能な補助金の獲得に努めたい。

衛生費

産後ケア事業の今後の方針は

問 今年度開始した産後ケア事業の実績と次年度予算の考えは。
答 宿泊型の利用率は二十〜三十%、日帰り型は七十〜八十%である。宿泊型では利用率の向上、日帰り型ではキャンセル待ちの解消などに取り組むたい。

問 陳情の採択に伴い実施される若年層健康診断と、ミカレット改修整備検討調査の内容は。
答 若年層健康診断は、会社に勤めていても健康診断を受ける機会のない若い方が対象で、三十代への健診と同内容である。ミカレットは、武蔵境駅南口の公衆トイレに必要な機能や立地場所等を含め、更新方針を検討する。

問 吉祥寺駅前への閉鎖型喫煙所設置や武蔵境駅前への設置検討は、補助金の対象となるのか。
答 設置時期にもよるが、令和二年度の設置であれば交付対象になると考える。今後も申請可能な補助金の獲得に努めたい。

問 新型コロナウイルス感染症流行により、納税困難事業者が出ているが、本市の事業者に対して、どのような対応を行うのか。
答 小規模事業者経営改善資金融資と、市の利子補給により、日本政策金融公庫で借入金を実質無利子となるように準備を進めている。また、本市独自の融資の利子補給も決定次第、適宜情報提供をしていきたい。

問 新型コロナウイルス感染症流行により、納税困難事業者が出ているが、本市の事業者に対して、どのような対応を行うのか。
答 小規模事業者経営改善資金融資と、市の利子補給により、日本政策金融公庫で借入金を実質無利子となるように準備を進めている。また、本市独自の融資の利子補給も決定次第、適宜情報提供をしていきたい。

問 新型コロナウイルス感染症流行により、納税困難事業者が出ているが、本市の事業者に対して、どのような対応を行うのか。
答 小規模事業者経営改善資金融資と、市の利子補給により、日本政策金融公庫で借入金を実質無利子となるように準備を進めている。また、本市独自の融資の利子補給も決定次第、適宜情報提供をしていきたい。

問 新型コロナウイルス感染症流行により、納税困難事業者が出ているが、本市の事業者に対して、どのような対応を行うのか。
答 小規模事業者経営改善資金融資と、市の利子補給により、日本政策金融公庫で借入金を実質無利子となるように準備を進めている。また、本市独自の融資の利子補給も決定次第、適宜情報提供をしていきたい。

農業費・商工費

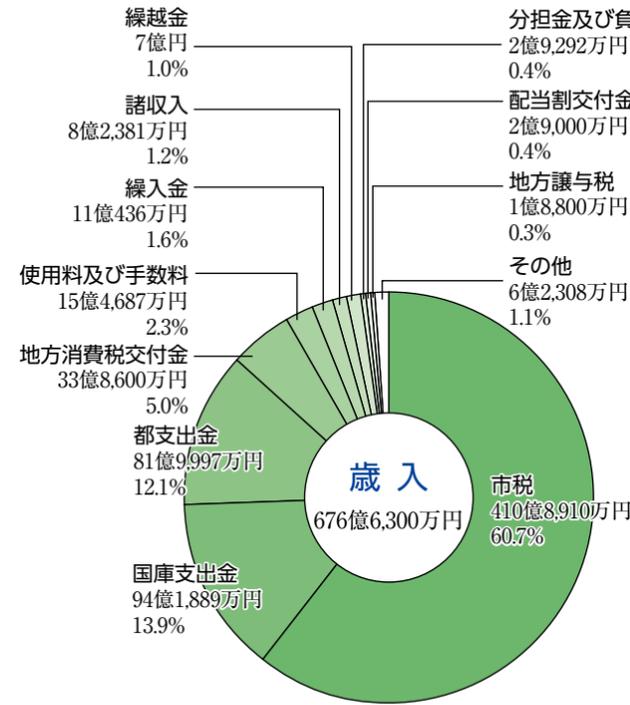
納税困難事業者に適宜情報提供を

問 新型コロナウイルス感染症流行により、納税困難事業者が出ているが、本市の事業者に対して、どのような対応を行うのか。
答 小規模事業者経営改善資金融資と、市の利子補給により、日本政策金融公庫で借入金を実質無利子となるように準備を進めている。また、本市独自の融資の利子補給も決定次第、適宜情報提供をしていきたい。

問 新型コロナウイルス感染症流行により、納税困難事業者が出ているが、本市の事業者に対して、どのような対応を行うのか。
答 小規模事業者経営改善資金融資と、市の利子補給により、日本政策金融公庫で借入金を実質無利子となるように準備を進めている。また、本市独自の融資の利子補給も決定次第、適宜情報提供をしていきたい。

予算特別 審査

一般会計歳入予算の内訳および



問 都市農地保全支援プロジェクトの現状や課題、展望は。
答 都市農地における本市の課題は、担い手不足であると認識しており、担い手を育てることが農地保全につながると考えている。農地パトロールや農業委員会等で情報収集に努めたい。

土木費

最低敷地面積規制を再検討しては

問 本市の最低敷地面積規制は、最低限確保すべき面積が広く相対時の分割等に支障を来しているが、都市計画マスタープランを改定する中で再検討するのかが。
答 規制が厳しいという意見がある一方、広い敷地が本市の魅力になっているとの意見もあり、今後議論が必要な点だと考える。

問 ナミユール・ノートルダム修道女会が所有する土地の買い受けは、特定の宗教法人との契約だが法令に抵触しないのか。
答 公有地拡大法にのっとりた手続きであり法的問題はない。

問 四月から自転車損害賠償保険の加入が義務化されるが、市民への情報提供はしているのか。
答 武蔵野公会堂の今後の在り

消防費

情報伝達は障害を持つ方への配慮を

問 災害時の情報伝達に関して、障害を持つ方への配慮は。
答 障害特性により適切な伝達方法は異なるため、福祉部門や障害者団体と協議し検討する。

問 市民へ災害情報を伝達する際に、スマートフォンアプリを活用してはどうか。
答 ソーシャルメディアの活用による情報発信の充実を行う中で、LINEの活用を防災分野へも広げられないか検討したい。

問 消防団の第三分団の詰所は、中央線の高架下であり騒音もひどいため、武蔵野公会堂の駐車場への移設を検討できないか。
答 武蔵野公会堂の今後の在り

教育費

学校消防設備の不具合は早急に対応せよ

問 小・中学校の消防設備の不具合は早急に対応すべきと考えますが、この間の把握方法を伺う。
答 令和元年度から点検業者が代わったことで、不具合が判明した。また、すでに対応済みの学校もあり、残りの学校も令和二年度早々に対応したい。

問 特別支援教育・不登校支援のICT環境整備の内容を伺う。
答 中学校特別支援教室は一枚に五台、小・中学校特別支援学級は一学級に十台のタブレット端末を導入する予定である。

問 子ども読書活動推進計画画定における課題と今後の方針は。
答 中・高生の読書離れが課題と考えている。今後は学校での読書活動や調べ学習を推進するための環境整備等を検討したい。

問 新型コロナウイルス対策に伴う小・中学校の休業により、余剰給食食材の活用が課題と考

特別会計

糖尿病重症化予防事業への着眼点は

問 国民健康保険事業会計予算「データヘルス計画」に基づく保健事業の充実として糖尿病重症化予防事業を挙げた理由は。
答 糖尿病は重症化すると合併症につながるものが多く、多額の療養給付費がかかるため、重症化予防を重視した。

問 新型コロナウイルス対策に伴う小・中学校の休業により、余剰給食食材の活用が課題と考

下水道事業会計

長期包括方式の導入検討の理由は

問 複数業務を包括し複数年で契約する、長期包括方式の導入に向け検討開始する理由を伺う。
答 下水道ストックマネジメント計画に基づき、来年度から多額の施設改修費用が見込まれることから、円滑な事業執行体制を構築するために検討する。

予算に対する各会派の討論

3月26日の本会議で予算に対する各会派の賛否の討論が行われました。以下はその要旨です。このほかに、山本ひとみ議員の、②は退席し、その他の予算に賛成する討論もありました。各会派の構成は8面に掲載しております。
予算特別委員会の詳しい内容は、インターネット議会中継または会議録でご覧いただけます。会議録は5月下旬以降、各市立図書館、各コミュニティセンター、市役所7階市政資料コーナー、または市議会ホームページにおいて閲覧することができます。

自由民主・市民クラブ
「緩んだガバナンスと内部統制の欠如」と指摘されない市政を
道場ひでのり 議員
①②③④⑤⑥賛成
市長に市役所全体のトップとしていかにリーダーシップを発揮し市民に安全、安心を提

供するか確認をしたが、理解に苦しむこととなった。職員には、コンプライアンスは無論高いモラル、市民からお預かりした大切な税金を公正・公平に使う責務、崇高なきょうじを意識して職務に臨んでもらいたい。また、リーディングシティとしての気概の堅持も願う。議会も市政改革には重責を意識し協力をする。直面している新型コロナ危機、今年度予算を最大限活用して市民生活を守ってもらいたい。

市議会公明党
テクノロジー等を活用し最小の経費で最大の効果を
大野あつ子 議員
①②③④⑤⑥賛成
限られた経営資源をどう振り分けていくのか、職員にどのような能力を求めていくのか、

大きな変換点にきている。行財政改革の中で、どこまでを民間委託するのか、根本となる考え方を明確にしておく必要があると考える。求め続けてきたスクールソーシャルワーカーの体制拡充は大きく評価している。今後は福祉分野の充実のため、ガバメントクラウドファンディング等の利用で、分身ロボットなどのテクノロジーの活用に向け、実証実験などを進めていただくことを要する。

ワクワクはたらく
広報広聴とリスクマネジメントの徹底、計画的な施策の実施を
宮代一利 議員
①②③④⑤⑥賛成
ICTにおける専門職の確保、RPAの実現性の明確化が課題と考える。随意契約は適

正な事務を行うため、現状の課題を認識したうえで改善を求める。また、第三中学校天井ボード落下事故を踏まえ、市内全校での点検方法の見直しと適切な保全の実施、学校改築におけるアスベストへの対応策について事前検討が必要と考える。市民との合意形成はまち場に出て意見を伺う姿勢が最善という意識で、積極的な施策は萎縮せず、市民、職員、議会が協力し一歩ずつ着実に前進してほしい。

日本共産党武蔵野市議団
命を守る市政を前に自治体の役割発揮を
本間まさよ 議員
①③④⑤賛成②⑥退席
消費税増税による消費不況に加え、新型コロナウイルス感染拡大により、日本経済も市

民の暮らしも深刻な状況である。市民の暮らしを守る視点で、国保税の多子世帯軽減制度の実施、市内特養ホーム・障害者施設の開設などの予算を評価する。また、若年層健康診断の対象拡大を求める陳情を受け、速やかに予算化したことは市民の市政への信頼につながる。しかし、国保税や下水道使用料の値上げは広範な市民に影響が出る。よって当該2会計の採決の際は退席する。

立憲民主ネット
多様性を認め合う支え合いの武蔵野市らしいまちづくりを
深沢達也 議員
①②③④⑤⑥賛成
長期計画を基本に据え、多様性を認め合い支え合いの地域社会をつくる視点、また平和

を希求する視点からバランスが取れている。高齢者施策でのレベルアップ事業やスクールソーシャルワーカー増員、公共施設の安全確保に取り組むための技術職を含めた職員の確保、武蔵野市らしい景観形成への施策の推進などを評価する。また、青少年平和交流派遣団としての中高生の長崎市への派遣は意義深い。職員には、フロンティアの気概とこれを達成する力があると期待し、賛成する。

自治と共生
予測困難な新年度だが、人権を尊重し、柔軟で機動的な対応を
内山さとこ 議員
①②③④⑤⑥賛成
長期計画の基本目標、自治基本条例の理念を念頭に審査した。インクルーシブ教育の推

進に期待している。自治基本条例の制定に至る経緯や内容を、市民に広めるよう求める。債権管理条例に関しては、相談支援体制の充実と関係機関の連携強化を深め、生活の再建、自立につなげていただきたい。SDGsの視点で、エコレポートが新たな環境啓発拠点に育つよう協力していきたい。新型コロナ感染症により、予測の難しい新年度だが、法的・科学的根拠を基に柔軟で機動的な対応を望む。

改革武蔵野・都民ファースト
曲学阿世とも言える実態の市政を改めよ
深田貴美子 議員
①反対②③④⑤⑥賛成
禁煙ロゴマーク等の検討・作成委託では特命随意契約を強行し、2つの宗教法人からの

土地購入では、背景やコスト等の疑問について明確な答弁がなされない。ここには、理事者の法令順守意識の欠如や不明瞭な行政手続きが見られる。第三中学校の天井落下事故は専門的知見をないがしろにした結果で管理責任者の責任は重い。議会軽視の発言もあり猛省を求める。市政を牽強付会・過而不改と指摘してきたが曲学阿世とも言える実態であり、一般会計予算への反対を強く申し述べる。

一般質問

第1回定例会では2月27日、28日に14名の議員から一般質問が行われました。各議員の主な質問と答弁を要約して掲載します。

詳しくは、5月下旬発行予定の会議録（設置場所各市立図書館、各コミュニティセンター、市役所7階市政資料コーナー）、または武蔵野市議会ホームページの会議録検索（第1回定例会分は6月1日登録予定）、インターネット議会中継でご覧いただけます。

※一般質問とは、議員が市政全般にわたり、市長をはじめとする執行機関に対し、事務の状況や将来に対する方針等について、質問をしたり、説明や報告を求めたりすることをいいます。

再犯防止推進計画の策定と犯罪被害者支援を



下田ひろき 議員

- 問** 都は再犯防止推進計画を策定したが、今後どのような連携が考えられるのか伺う。
- 答** 情報共有を密にし、各種施策の検討・推進に協働して取り組む必要があると考える。
- 問** 本市においても再犯防止推進計画を策定すべきと考えるが、今後の方向性を伺う。
- 答** 計画策定について具体的に検討はしていないが、北多摩東地区保護司会に所属する4市で連携しながら必要性を検討したい。
- 問** 都の犯罪被害者等支援条例が可決された場合、市の施策にどう反映するのか。
- 答** 条例には市区町村に対して義務づける項目はないと考えるが、今後も関係機関等との連携強化を図りながら研究をしたい。

脱プラスチックに向けたストロー削減の取り組みを



西園寺みきこ 議員

- 問** 世界的な脱プラスチックの動きを受け、給食牛乳のストローも削減すべきでは。
- 答** ストロー削減への取り組みは、生徒が主体的に行うことが重要だと認識している。
- 問** 他市の井戸で検出された有機フッ素化合物について、本市水道での監視体制を伺う。
- 答** 市内2か所の浄水場の検査を毎年行っている。本年1月に市内25か所の水源で採水し、2化合物の測定結果を公表した。
- 問** コミセン改修工事の内容と工事による休館中の協議会の役割はどうあるべきか伺う。
- 答** 給排水管更新のため休館を伴う改修を行っているが、改修中も地域住民・団体をつなぐ協議会の役割は変わらないと考える。

建設キャリアアップシステムで公共工事の質を担保すべき



藪原太郎 議員

- 問** 本市にゆかりのあるクリエイターの方にむさしのFMへの出演を依頼し、シティプロモーションにつなげられないか。
- 答** 事業者やクリエイターの方の結び付きで市政が発展するよう取り組みたい。
- 問** 建設キャリアアップシステムについて、①本市の見解を伺う②事業者へ導入を促し、処遇改善により公共工事の質の向上につなげるため、入札時の評価の対象としては。
- 答** ①建設技能者の処遇改善やキャリア支援、事業者としても担い手の確保等に有益であり、注視すべきと考え推移を確認している②質問の趣旨を踏まえ、今後評価の方式や取り扱いについて研究をしていきたい。

地産地消を進め、給食・食育の地域展開を



内山さとこ 議員

- 問** 今後の給食・食育振興財団の役割として、①学童クラブでの昼食の提供②市民社会福祉協議会と連携し、多世代が集える地域食堂の実施③地産地消の推進に向け、市内産野菜の安定的な供給体制を検討すべきでは。
- 答** ①学校給食の継続した提供が第一と考える②本格的な事業展開は困難だが、来年度より子ども・コミュニティ食堂の運営へ補助を行う③生産者と引き続き協議したい。
- 問** 独居の高齢女性や単身非正規雇用者が必要とする支援の実態を把握すべきでは。
- 答** 各種実態調査により顕在化していないニーズの把握に努め、相談支援体制の充実を図り、相談窓口の周知方法を検討したい。

東京2020オリ・パラ競技大会を身近に感じる取り組みを



ひがしまり子 議員

- 問** すべての市民の健康面とまちをきれいにしたいという観点から喫煙スペースを要望し、設置されることになったが、オリ・パラに向けた今後の受動喫煙対策を伺う。
- 答** 三鷹駅北口に閉鎖式喫煙所を令和2年4月に設置し、その効果を踏まえて吉祥寺および武蔵境の駅前設置について検討したい。
- 問** 武蔵境駅北口にパチンコ店等がオープンしたことで、車が頻繁にすきっぷ通りへ進入し、通行人とのトラブルや車の逆走等が発生するなど大変危険と考えるが見解は。
- 答** 状況は把握しており、交通マナーの周知について事業者に要請するとともに、武蔵野警察署と情報共有し、対応していきたい。

「備えあれば憂いなし」の市政運営を



大野あつ子 議員

- 問** 玉川上水・分水網、千川上水を100年後の子どもたちに残すことについて見解は。
- 答** 国や都と連携しながら、重要な財産として良好な状態で次世代に引き継ぎたい。
- 問** 市長が目指す子どもの人権条例、子どもの人権擁護機関についての青写真を伺う。
- 答** 条例が実効性の伴った内容となるように人権擁護委員等との関係を考慮し検討する。
- 問** 老朽化した施設が増える中、公共施設等総合管理計画を支える今後の保全改修体制についての見解を伺う。
- 答** 早期段階の予防修繕等実施のため、技術職員の知識向上と育成を図る等施設の安全確保と効率的な維持保全体制を実現したい。

市民参加なく市長の独断で決めたデザイナー選定への見解は



きくち太郎 議員

- 問** 松下市長は、市民参加の進化を公約したが、路上喫煙禁止およびポイ捨て禁止ロゴマークの選定においては、公募も入札もなく約200万円でデザイナーに発注し、市民参加の機会が皆無だった。例えば子育てひろばみずきこのロゴマークは市民が無償でデザインしたものであり、今回の件では、市内のデザイナーの卵たちなどからチャンスを奪ってしまったと考えるが見解を伺う。
- 答** 平成30年の都市問題会議で「市民参加によるネーミング、ロゴデザインづくりについて」のテーマで森本千絵氏の講演を聴き、実績とすばらしいアイデアをお持ちの同氏に委託することが妥当と判断した。

水と食の安全性確保のため懸念される政策に自治の力を



山本ひとみ 議員

- 問** 市は、水や給食食材に細やかな注意を払い、安全性確保に努めてきたが、国の規制緩和や水道法改正等で損なわれかねない。植物の自家増殖を原則禁止とする種苗法改正は、生産者が不利益を被ることがありうると考えるが、見解を伺う。
- 答** 自家増殖の許諾制は、生産者の負担を増やすことも予想されるため、保護と利便性のバランスを保つ制度を期待している。
- 問** 多摩地域の一部の浄水場で、井戸水からPFOS*やPFOA*が検出されたが、飲料水の安全性を確保するうえでの課題は。
- 答** 1月に深井戸25か所で水質を測定し結果を公表したが、今後も独自の検査を行う。
*有機フッ素化合物（ピーフオス、ピーフォア）

柔軟な子育てと働き方の実現を



本多夏帆 議員

- 問** 幼児教育・保育無償化に関する市民の要望に対し、どのように取り組んでいるのか。
- 答** 無償化の対象となる認可外保育施設の拡充の要望はあるが、保育の質の観点から市独自基準を満たした施設を対象としている。
- 問** 保育の質とは何か、市の定義を伺う。
- 答** 保育のガイドラインで子どもの健全な心身の発達を図るために保育を実践すると定義づけ、質の向上を目指し取り組んでいる。
- 問** 令和2年度の各種選挙に向けた市民の政治参加を支えるための具体的な施策は何か。
- 答** 投票しやすい環境づくりを進めるにあたり、特に期日前投票の期間延長の実現に向けた取り組みを行っていききたい。

市長公務の優先順位の判断を問う



堀内まさし 議員

- 問** 市長へのさまざまな案内に対する出欠席は、どのような基準で判断しているのか。
- 答** 出席する公務等の優先順位は、そのつど状況を判断し、市長みずから決定している。
- 問** 武蔵野警察署武道始式の行事は、市としてどのように認識しているか、見解を伺う。
- 答** 武道の鍛錬の成果を披露し、まちの安全と安心を守ることを伝えている行事である。
- 問** 武蔵野警察署武道始式の欠席理由は。
- 答** クリエイティブ産業振興の観点から、地元の漫画家が原作の歌劇を観劇していた。
- 問** 非常用発電設備の点検を内部観察から負荷試験に切り替えるべきと考えるが見解は。
- 答** 調査研究するようにとの意見として承る。

多胎児家庭支援の充実と教育の情報化への環境整備を



品川春美 議員

- 問** 多胎児家庭への支援について、本市の見解と今後の方向性を伺う。
- 答** 多胎育児の難しさや支援ニーズを認識しており身近な子育て支援施設等での支援充実が重要である。第五次子どもプランにも記載し、ふたご・みつごのつどい等実施中の事業に加えさらに必要な支援を検討する。
- 問** GIGAスクール構想*の下、学習者用端末の1人1台環境の整備を早期に求めるが、どのような教育効果をねらい導入するのか。
- 答** 教育の情報化は、情報活用能力の育成や学びが深まる授業の実現等を目指している。ツールとして、授業の中で必要な場面で効果的に使いこなせるよう準備を進めたい。
*誰一人取り残さず子どもたち一人一人に個別最適化され、創造性を育むICT環境の実現に向けた施策

障がい者の介護保険移行でサービスが低下しないよう求める



本間まさよ 議員

- 問** 障がい者の方が65歳で介護保険に移行する際、以前と同等の支援が受けられないケースがある。障害福祉サービスを打ち切るのは誤った対応だが本市での実態を伺う。
- 答** 介護保険サービスでは不十分な場合、障害者総合支援法での補足給付を行っている。
- 問** 65歳以上でも障害者総合支援法のサービスを利用している方の人数を伺う。
- 答** 居宅介護(身体)7名、居宅介護(家事)7名、重度訪問介護6名などである。
- 問** 本市での幹部職員に占める女性の割合を引き上げることについて、現状を伺う。
- 答** 特定事業主行動計画での数値目標は20%だが、平成30年度の実績は11.4%である。

実効性のある子どもの権利条例の制定を



葦野恵美子 議員

- 問** 実効性のある子どもの権利条例制定に向け①乳幼児の虐待対策として大人への条例の周知が必要だが、母子健康手帳への記載等に対する見解は②家庭・学校以外の子どもが相談しやすい第三者機関の設置と権限確保のため条例への明記を求めるが見解は。
- 答** ①提案内容も含め効果的な啓発方法を検討したい②条例には第三者機関の設置など実効性を伴った内容が必要と考えている。
- 問** 千葉市で検討中の行政からの助成やサービス等の受け損ねを防ぐ個別の通知システムの導入について、本市での方向性を伺う。
- 答** 個人情報等の課題があり導入は難しいが、LINEでの情報配信は検討している。

第三中学校の天井材落下事故を受け調査・報告を求める



木崎 剛 議員

- 問** 第三中学校天井材落下事故を受け、学校施設整備基本計画のデータを洗い直しては。
- 答** 今回の事案を踏まえて、今後他校も含めて必要な点検や調査を行いたい。
- 問** QuOLa屋上のテナントの違反行為後、是正計画どおりになっていないが、対応は。
- 答** 建築基準法に抵触する状態であれば、是正指導を行う。市と交わした契約に基づき、適正な運用をするよう、改めて申し入れる。
- 問** QuOLa屋上機械室の使用について違反行為を行える状況を作った管理運営事業者に対して、その責任をどう考えるか。
- 答** 今後二度と違反がないよう、適切な維持管理を運営事業者に強く要望した。

議会基本条例を制定しました

議会基本条例とは

議会が果たすべき責任や役割がますます大きくなっていますが、議会の機能をさらに充実させるため、議会および議員の活動原則や、市長ほか執行機関や市民との関係など、議会を運営していくうえでの基本的な原則を定めたものが、議会基本条例です。

この条例を制定することで、議会の在り方を明らかにするとともに、市民参加の推進および情報公開を積極的に進め、今まで以上に、市民の負託に応える議会を目指していきます。

議会基本条例検討の経緯

武蔵野市議会は、平成23年度より議会運営委員会において議会基本条例の検討を行ってきました。その中で、できることは

具体化してきました。平成27年度には議長を座長とした「議会改革等協議会」を設置し、議会基本条例の議論を進めてきました。

平成29年度より、「議会改革等協議会」でまとめられたテーマに沿い、議会運営委員会で議会基本条例素案の検討を行ってきました。また、市民との意見交換会を実施しました。令和元年8月、議会運営委員会において、議会基本条例素案をまとめ、パブリックコメントの募集や市民意見交換会を行いました。令和2年3月、本会議で可決され、4月1日から施行されています。



令和元年11月23日、議会基本条例制定に関する市民意見交換会

各常任委員会 行政視察報告

令和元年10月に、各常任委員会で下記のとおり行政視察を実施しました。各委員会視察報告の詳細については、市議会ホームページでご覧いただけます(1面下部参照)。

委員会	総務委員会	文教委員会
日程	令和元年10月16日(水)~18日(金)	令和元年10月16日(水)~18日(金)
視察先および視察内容	<ul style="list-style-type: none"> ①鳥取県 <ul style="list-style-type: none"> ・公文書管理条例の制定について ②兵庫県淡路市 <ul style="list-style-type: none"> ・パソナグループとの官民連携の地方創生事業について ③高知県高知市 <ul style="list-style-type: none"> ・下知地区防災計画について  <p>鳥取県立公文書館</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①奈良県大和郡山市 <ul style="list-style-type: none"> ・不登校対策プログラムについて ②兵庫県芦屋市 <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ・スクールについて ③兵庫県神戸市 <ul style="list-style-type: none"> ・PTAの改革について ④滋賀県近江八幡市 <ul style="list-style-type: none"> ・桐原コミュニティエリアについて  <p>近江八幡市立桐原小学校</p>
委員会	厚生委員会	建設委員会
日程	令和元年10月23日(水)~25日(金)	令和元年10月23日(水)~25日(金)
視察先および視察内容	<ul style="list-style-type: none"> ①兵庫県西宮市 <ul style="list-style-type: none"> ・環境学習都市の取り組みについて ②大阪府門真市 <ul style="list-style-type: none"> ・大阪府「おおさか健活マイレージ「アスマイル」事業」のモデル実施について ③静岡県浜松市 <ul style="list-style-type: none"> ・浜松市ひきこもり地域支援センターの運営・取り組みについて ④愛知県大府市 <ul style="list-style-type: none"> ・おおぶ・あったか見守りネットワークについて  <p>西宮市環境学習サポートセンター</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①大阪府豊中市 <ul style="list-style-type: none"> ・官民協働による地区活性化策について ②兵庫県姫路市 <ul style="list-style-type: none"> ・アダプト制度について ③大阪府大阪市 <ul style="list-style-type: none"> ・エリアマネジメント活動促進制度について ④兵庫県明石市 <ul style="list-style-type: none"> ・駅前再開発における公共施設の整備について  <p>明石市役所</p>

議案等審議結果(議決)一覧

第1回定例会

【市長提出議案(29件)】

- 武蔵野市自治基本条例 …… 可決(全会一致)
※第4回定例会で継続審査となっていたが、今定例会で可決されました。
- 武蔵野市固定資産評価審査委員会委員の選任の同意について …… 同意(全会一致)
※本市固定資産評価審査委員会委員に吉田宗一郎氏を再任することについて、市議会の同意を求めるもの。
- 武蔵野市固定資産評価審査委員会委員の選任の同意について …… 同意(全会一致)
※本市固定資産評価審査委員会委員に中田千恵子氏を再任することについて、市議会の同意を求めるもの。
- 武蔵野市組織条例の一部を改正する条例 …… 可決(全会一致)
※第六期長期計画策定に伴う機構改革により組織改正を行うもの。
- 武蔵野市職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例 …… 可決(全会一致)
※会計年度任用職員の年次有給休暇について、規則で定める取得単位での付与を行うことができる旨の改正を行うもの。
- 武蔵野市非常勤職員の報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例 …… 可決(全会一致)
※報酬および費用弁償を支給する非常勤職員(青少年委員)の削除、武蔵野市災害弔慰金等支給審査委員会の委員の追加等をするため、所要の改正をするもの。
- 武蔵野市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例 …… 可決(賛成多数)
※一般職の職員の勤労手当の支給率の改定に伴うほか、旅館業法の改正に伴い字句の改正等を行うもの。
- 武蔵野市債権の管理に関する条例 …… 可決(全会一致)
※債権の管理に関する事務の処理について一般的な基準等を定めることにより、債権管理の一層の適正化を図り、もって市民間の負担の公平性の確保および健全な財政運営に資するため、制定するもの。
- 武蔵野市印鑑条例の一部を改正する条例 …… 可決(全会一致)
※成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係法律の整備に関する法律の施行を踏まえ、印鑑の登録ができない者を「成年被後見人」から「意思能力を有しない者」に改正するほか、本市は磁気ディスクをもって調製する住民票を取り扱っているため、住民票に係る表記を「記載」ではなく「記録」と統一するもの。
- 武蔵野市福祉型住宅管理条例の一部を改正する条例 …… 可決(全会一致)
※民法改正を踏まえ、連帯保証人の責任が無制限でないことを明示し、負担する額に極度額を設定するほか、所要の改正をするもの。
- 武蔵野市雨水の地下への浸透及び有効利用の推進に関する条例 …… 可決(全会一致)
※雨水排水計画の届け出等を義務づける対象を拡大するほか、所要の改正をするもの。
- 武蔵野市市営住宅条例の一部を改正する条例 …… 可決(全会一致)
※民法改正を踏まえ、連帯保証人の責任が無制限でないことを明示し、負担する額に極度額を設定するほか、所要の改正をするもの。
- 武蔵野市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例 …… 可決(全会一致)
※災害弔慰金の償還について、半年賦、月賦の方法を追加するほか、災害弔慰金および災害障害見舞金の支給に関する事項を調査審議するため、武蔵野市災害弔慰金等支給審査委員会を設置するもの。
- 人身事故に係る損害賠償の額の確定及び和解について …… 可決(全会一致)
※武蔵野市道上において発生した人身事故に係る損害賠償の額の確定および和解をするもの。
- 人身事故に係る損害賠償の額の確定及び和解について …… 可決(全会一致)
※武蔵野市道上において発生した人身事故に係る損害賠償の額の確定および和解をするもの。
- 東京都後期高齢者医療広域連合規約の一部を変更する規約 …… 可決(全会一致)
※東京都後期高齢者医療広域連合の経費の支弁の方法を変更するため、所要の改正をするもの。
- 石神井川排水区雨水幹線切替等に関する業務委託契約の変更について …… 可決(全会一致)
※契約金額の上限を10億3,696万3,620円に、履行期間を令和4年2月28日までに変更するもの。
- 令和元年度武蔵野市一般会計補正予算(第5回) …… 可決(全会一致)
- 令和元年度武蔵野市下水道事業会計補正予算(第2回) …… 可決(全会一致)
- 令和元年度武蔵野市国民健康保険事業会計補正予算(第2回) …… 可決(全会一致)
- 令和元年度武蔵野市後期高齢者医療会計補正予算(第2回) …… 可決(全会一致)
- 令和元年度武蔵野市介護保険事業会計補正予算(第2回) …… 可決(全会一致)
- 令和2年度武蔵野市一般会計予算 …… 可決(賛成多数)
- 令和2年度武蔵野市国民健康保険事業会計予算 …… 可決(全会一致)
- 令和2年度武蔵野市後期高齢者医療会計予算 …… 可決(全会一致)
- 令和2年度武蔵野市介護保険事業会計予算 …… 可決(全会一致)
- 令和2年度武蔵野市水道事業会計予算 …… 可決(全会一致)
- 令和2年度武蔵野市下水道事業会計予算 …… 可決(全会一致)
- 武蔵野市教育委員会委員の任命の同意について …… 同意(全会一致)
※本市教育委員会委員に井口大也氏を任命することについて、市議会の同意を求めるもの。

【議員提出議案(3件)】

- 武蔵野市議会基本条例 …… 可決(全会一致)
- 武蔵野市議会委員会条例の一部を改正する条例 …… 可決(全会一致)
- 新型コロナウイルス感染症対策に関する意見書 …… 可決(全会一致)

【動議(1件)】

- 議案第73号武蔵野市自治基本条例に関する付帯決議に関する動議 …… 可決(賛成多数)
議案等に対する各議員の賛否結果については、市議会ホームページに掲載しています。

陳情 審議結果

意見付き採択

第三中学校天井落下事故
究明と市内全児童・生徒
の安全を求めることに関
する陳情
(意見)学校施設整備を着
実に進めるとともに、陳
情の趣旨に沿うよう努力
されたい。

継続

「気候危機」という認識に
立った温暖化対策強化に
関する陳情
種苗法改定の取り下げを
求める意見書の提出に関
する陳情
取り下げ
女子大通り拡幅計画に関
する陳情(※)
(※)は継続審査となってい
たものです。

政府等への

意見書

新型コロナウイルス感染症対策に関する意見書

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)は、いまだに治療法が確立されないまま世界中に感染が広がり、世界保健機関(WHO)は、「パンデミック(世界的流行)とみなせる」と表明した。

国内においては、対策が進められてはいるが、二月二十七日に示された全国一斉の小中高校の休校要請、イベント中止要請等により市民生活に大きな影響が出ているほか、マスクや消毒液の品切れにより予防策が困難になる等、市民に不安が広がっ

ている。

さらに、イベント自粛の広がり等により、商工業、観光業、イベント事業者、農業関係者等、地域経済への影響が既に始まっており、先行きの見えない状況に陥っている。

このような状況下で武蔵野市は、一月三十一日新型コロナウイルス感染症対策本部を設置し最大限の対策を行い、議会として協力しているところである。

以上のことにより、国においては、地方公共団体、医療関係者等関係機関と連携し、感染症の収束、市民生活への支援強化並びに地域経済への対策について、下記項目を含め、より一層の対策強化を求める。

- 一 新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けて、迅速診断体制、ワクチン開発や治療法の早期確立に向け

て努めること。

二 国民に向け、正確な関連情報の迅速な開示と発信に努めること。
三 重症化が懸念される高齢者、障害者、持病を持つ方への感染防止対策強化に努めること。

四 環境の急激な変化により懸念される子どもたちの見守りとケアを十分行えるよう対策強化に努めること。
五 子育て家庭への支援強化に努めること。

六 影響が懸念されるフリーランス、自営業者や個人事業主を含めた事業者への支援策強化に努めること。
七 感染者への差別や偏見を防ぎ、人権配慮に努めること。

- 八 地方公共団体に向け、正確な情報提供に基づく判断基準を迅速に示

すとともに、財政面についても支援強化に努めること。

(衆議院・参議院議長、内閣総理・総務・厚生労働大臣あて)

決議

議案第七十三号武蔵野市自治基本条例に関する付帯決議

本条例の制定によって、武蔵野市の市民参加が、さらに充実し、市民福祉の向上が実現されなければならぬと考える。ついては、市長等は、武蔵野市が関わる公共施設等の整備において、適時、適切に市民参加の機会を設けられるよう、強く求める。

会派名簿

会派とは、市政について、同じような考えや意見を持っている議員のグループで、議会活動の一つの基盤となります。

※氏名は議席番号順、電話番号は会派控室(市役所7階)の直通電話番号です。議員の連絡先は、わたしの便利帳や市議会ホームページでご確認いただくか、議会事務局にお問い合わせください。

自由民主・市民クラブ ☎60-1884	自治と共生 ☎60-1890
道場 ひでのり 堀内 まさし ひがし まり子 木崎 剛 きくち 太郎 土屋 美恵子 与座 武 小美濃 安弘	内山 さとこ 山本 あつし
立憲民主ネット ☎60-1889	ワクワクはたらく ☎60-1885
藪原 太郎 蔵野 恵美子 西園寺 みきこ 川名 ゆうじ 深沢 達也	宮代 一利 本多 夏帆
市議会公明党 ☎60-1887	改革武蔵野・都民ファースト ☎60-1944
大野 あつ子 浜田 けい子 落合 勝利	深田 貴美子 品川 春美
	日本共産党武蔵野市議団 ☎60-1888
	橋本 しげき 本間 まさよ
	会派に属さない議員 ☎60-1909
	山本 ひとみ 下田 ひろき

市議会だよりへのご意見、ご要望をお聞かせください。

議会事務局

TEL 0422-60-1883 FAX 0422-55-7555
メールアドレス ofc-gikai@city.musashino.lg.jp
市議会ホームページ http://www.city.musashino.lg.jp/shigikai/